

普及活動情勢報告（令和6年5月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

女性農業者の活躍推進を支援－地区農村女性リーダー協議会総会開催－



研修内容について熱く協議するリーダーら

4月22日、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会は安田町地域ふれあいセンターで総会を開催し、リーダーら15人が参加しました。

農業改良普及課は、役員会での事前協議により活動計画作成を支援するとともに当日は「働きやすい環境づくりに係る補助事業（案）」や「女性活躍推進事業」の紹介、農薬の安全使用等を啓発しました。参加者からは「事業の詳細が決定したら教えてほしい」との要望がありました。

今後、農業改良普及課は総会で決定した家族経営協定や伝承料理の研修に向けた計画活動を支援していきます。

241字

馬路村で有機農業を推進－馬路村オーガニックビレッジ宣言－



高知県第一号のオーガニックビレッジ宣言

昨年度から農業改良普及課が後押しをしていた馬路村が、4月23日、JA馬路村ゆずの森加工場において、高知県初となる「オーガニックビレッジ」を宣言しました。

宣言書には「これからも有機農業の取組を発展させていく」と記され、式終了には関係者（役場、JA馬路村、県環境農業推進課、農業改良普及課）が集まり、宣言後の活動内容について協議しました。

農業改良普及課は今後も引き続きユズの有機栽培に係る指導と、有機農業のPR活動等を支援していきます。

216字

へた腐病対策の徹底－芸西ピーマン部会勉強会－



勉強会の様子

4月26日、JA高知県芸西支部ピーマン部会現地検討会と勉強会が開催され、部会員15人が参加しました。

農業改良普及課からは、ピーマンへた腐病について、感染の仕組みと、収穫はさみやコンテナを清潔に保つ等、化学的防除以外の重要性についても指導しました。

参加者からは、「農薬の種類が少なく、困っている。春以降は特に腐敗に注意したい。」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して腐敗事故防止の徹底を呼びかけ、信頼される産地の維持につながるよう支援していきます。

236字

地域の農地と景観を守ろう！～大原・西ノ平集落営農組織設立総会～



設立総会の様子

5月7日、奈半利町大原・西ノ平生活改善センターで、集落営農組織設立総会を開催し、地域の耕作者及び関係機関ら10名が参加しました。

地域計画の地区座談会から集落営農の検討が始まり、農業改良普及課は組織設立に向け、座談会で集落ビジョンや組織設立後の活動計画の作成支援を行ってきました。設立総会では、組合長から「小さいことの積み重ねが重要、頑張ろう」との挨拶がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し組織活動が順調に行われるよう支援していきます。

これからの事業拡大に向けて～日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」～



熱心に協議する参加者

5月10日、室戸市日南・大平集落活動センター「ひなたぼっこ」は令和5年度総会を開催し、組合員10名が参加しました。

農業改良普及課室戸支所は、6年度から開始する伝統野菜‘ぼたなす’の集出荷事業の説明や遊休農地活用に向けて有望花木類を紹介しました。

参加者からは室戸支所が作成した‘ぼたなす’出荷規格表への意見や「少しからでも花木にチャレンジしてみたい」と前向きな声が聞かれました。

引き続き室戸支所は事業拡大に向けて伴走支援していきます。